

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公開番号】特開 2005-187816 (P2005-187816A)

【公開日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-027

【出願番号】特願 2004-364266 (P2004-364266)

【国際特許分類】

**C 0 8 G 18/32 (2006.01)**

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/32 A

C 0 8 G 18/32 A

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 7 日 (2007.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリウレタンインテグラルスキンフォームの製造方法であって、

( 1 )

a ) 2 0 ~ 1 0 5 0 の O H 価及び 2 ~ 6 の官能価を有する少なくとも一のポリオール成分、又は 2 5 0 ~ 6 5 0 の数学的に定められる平均 O H 価及び 2 . 5 ~ 5 の数学的に定められる平均官能価を有するポリオール成分混合物、

b ) 場合により、一又はそれ以上の鎖延長剤及び / 又は架橋剤、

c ) 場合により、一又はそれ以上の活性剤

d ) 水、及び

e ) 場合により、一又はそれ以上の添加剤及び助剤物質

を含んで成るポリオール配合物 ( A ) を準備すること、並びに

( 2 )

f ) 一又はそれ以上の有機及び / 又は変性有機ポリイソシアネート及び / 又はポリイソシアネートプレポリマー、及び

g ) 一又はそれ以上の無機ゼオライト

を含んで成るイソシアネート成分 ( B ) と配合物 ( A ) を反応させること  
を含んで成る製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

本発明の製造方法は、成分 a ) ~ e ) を混合後、ポリオール混合物 ( A ) とポリイソシアネート成分 ( B ) を組み合わせることによって、通常行う。最後の上述の混合操作は、例えば、ポリウレタンフォームの製造に通常用いられるような、攪拌装置を用いて、好ま

しくは常套の高圧攪拌装置を用いて行われる。反応混合物を準備した後、それを型の中に入れる。一般的に、用いられる成形型の温度は、少なくとも30、好ましくは少なくとも50である。型の内壁は、必要であれば、充てんする前に、既知のいずれかの外部離型剤を用いて処理してもよい。

以下に、本発明の主な態様を記載する。

1.

ポリウレタンインテグラルスキンフォームの製造方法であって、

(1)

a) 20 ~ 1050のOH価及び2 ~ 6の官能価を有する少なくとも一のポリオール成分、又は250 ~ 650の数学的に定められる平均OH価及び2.5 ~ 5の数学的に定められる平均官能価を有するポリオール成分混合物、

b) 場合により、一又はそれ以上の鎖延長剤及び/又は架橋剤、

c) 場合により、一又はそれ以上の活性剤

d) 水、及び

e) 場合により、一又はそれ以上の添加剤及び助剤物質  
を含んで成るポリオール配合物(A)を準備すること、並びに

(2)

f) 一又はそれ以上の有機及び/又は変性有機ポリイソシアネート及び/又はポリイソシアネートプレポリマー、及び

g) 一又はそれ以上の無機ゼオライト  
を含んで成るイソシアネート成分(B)と配合物(A)を反応させること  
を含んで成る製造方法。

2.

ポリオールa)は、2 ~ 5の官能価を有する上記1に記載の製造方法。

3.

ポリオールa)は、200 ~ 900のOH価を有する上記1に記載の製造方法。

4.

a)は、ポリオールの混合物である上記1に記載の製造方法。

5.

a)の平均OH価は、350 ~ 500である上記4に記載の製造方法。

6.

a)の平均官能価は、3 ~ 4.5である上記4に記載の製造方法。

7.

g)は、ホージャサイト型のゼオライトである上記1に記載の製造方法。